

部会政策フォーラム2018

10月6日、本部大会議室において、50名の仲間の参加で「部会政策フォーラム2018」を開催しました。

営業部会・運輸車両部会・工務部会・かんり部会が提言発表を行い、きかく部会・医療部会は紙面発表を行いました。現場で発生している身近な問題を題材に、実践的な提言が出されました。討論では他系統からも活発な意見が出され、提言を豊富化しました。

組合員の雇用を守ることは、安全第一でなければなりません。部会は、系統ごとの特殊性と専門性に特化した業務のプロという位置づけを原点上に「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある職場をつくり出すため、各部会で継続的に議論していくことを確認しました。(部会発)



【提言 ～テーマ～】

- 営業部会輸送分科会 「ホーム上の安全は俺たち輸送が守る」
- 運輸車両部会バス分科会 「JR発足30年、バス業界におけるこれまでの歩みを振り返って、これからのバス業界を考える」
- 工務部会 「工務職場の将来像」～直営技術のあり方～
- かんり部会 「かんり部会としての変遷」
- きかく部会 「課員手当の新設について」
- 医療部会 「医療現場の問題点」

ICLSモンゴル労働フォーラム2018

ICLS (国際労働者交流センター) モンゴル労働フォーラムが、9月25日から29日までモンゴル・ウランバートルで開催されました。JR総連からはJR東労組・JR北海道労組・JR東海労・JR貨物労組代表者が参加し、海外鉄道労組で連帯する仲間たちを含め70名が集まりました。労働フォーラムでは、モンゴル・フィリピン・タイ・韓国・ニュージーランド・オーストラリア・台湾・ミャンマー・インドネシア・マレーシア各国の鉄道労働者が結成する主要組合が「雇用・安全・効率化」の課題を中心に2日間わたって議論を行いました。そして、①各国の賃金格差問題 ②運輸産業における自動化 ③ICLS活動の強化 ④青年・女性労働者の組織化についてテーマを選定し、主にJR東労組からは、「18春闘における敗北の根拠と組織現実」「変革2027に向けて、労働組合としてどのように向かうのか」「青年労働者の組織化における課題」について提起しました。

運輸産業における自動化では、韓国・台湾など既に長編成でのワンマン運転が導入されている現実があり、人間による判断力と人間労働の価値の重要性が共通の課題であるという認識を一致させました。

青年労働者の組織化について、モンゴル鉄道労組連盟では男女共同参画の問題を重要課題として取り組み「セクハラ・パワハラ問題」について女性組合員を対象にした研修や、組合リーダーと「労使関係・法律・団体協約・安全衛生・青年活動研修」を開催しています。

JR総連は、これまでICLS労働フォーラムを組合員組織数という観点からも大きく牽引してきた主要労働組合でしたので、18春闘において「なぜJR東労組で大量脱退が発生してしまったのか」などの質問や心配の声が各国労働組合から寄せられました。それに対して私たちは、「組合員の82・3%がストライキを背景にたたかうということに賛成したことをもって、実力行使も成功すると過信したこと」「18春闘の大敗北という総括に基づいて情勢分析の誤りと、打ち出した方針の何が間違っていたのか根拠を掘り下げ、組合員の信頼を取り戻すために奮闘する」反省と決意を述べ

ました。オーストラリア鉄道・トラム(路面電車)・バス労組からは、「ストライキは最終手段であり、全組合員が決意しない」という厳しい指摘もありましたが、JR総連・JR東労組の信頼は揺らぐものではない」という力強いエールを頂きました。

今後もICLSの発展に尽力し、多くの海外労組との連帯の輪を拡げます。



列車妨害発生!

列車妨害を絶対に許してはいけません。常に警戒心を持つことを忘れず、共有化を図ると共に連携を取りながら業務を遂行していきましょう!

《水戸支社管内》

- 2018.10.6 夜間 坂場踏切にて置き石(水戸線 友部～宍戸間)
- 10.8 20:00頃 (常磐線 いわき～内郷駅間)
 - ・線路内に踏切や安全柵用の資材、長さ約50cm、重さ約2kgの金属棒
 - ・長さ約1m、重さ約20kgのコンクリート柱2本
- 10.8 夜間 坂場踏切にて置き石(水戸線 友部～宍戸間)
- 10.9 6:00頃 (常磐線 いわき～内郷駅間)
 - ・40cm程の石材、標識

《千葉支社管内》

- 10.9 6:00 車両への落書きを発見し、連休

不審な事象があれば、すぐに「報告・連絡・相談」を!

10月11日、大宮地本OB会の仲間みなさんが「血と汗と涙で国鉄改革をたたき抜いた。その精神で築き上げてきたJR東労組を壊されてはならない。共にたたかていく」との決意で本部激励に来ていただき、意見交換を行いました。

これまで創り上げたJR東労組を絶対に壊さない!



大宮地本OB会から心強い激励をいただきました!

お詫びと訂正

緑の風684号(10月1日付)の4面「JRバス土浦分会第33回定期大会」の文面に一部誤りがありました。

訂正箇所 文面の右から1行目

(誤) 総務40名 → (正) 総勢40名

お詫びして訂正いたします。